2026年12月期　第３四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名	日機装株式会社			上場取引所　東
コード番号	6376	ＵＲＬ　https://www.nikkiso.co.jp		
代表者	（役職名）代表取締役社長執行役員	（氏名）加藤　孝一		
問合せ先責任者	（役職名）取締役執行役員コーポレート部門長	（氏名）村上　雅治	ＴＥＬ　03(3443)3711	
配当支払開始予定日	ー			

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	177,885	16.8	14,019	70.7	14,231	78.2	11,767	59.0	11,609	58.3	12,261	25.0
2025年12月期第３四半期	152,278	0.4	8,211	119.6	7,985	72.7	7,402	79.4	7,331	75.0	9,809	72.6

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	177.72	177.69
2025年12月期第３四半期	110.65	110.51

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	375,439	168,985	167,064	44.5
2025年12月期	358,129	160,228	158,176	44.2

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	18.00	ー	22.00	40.00
2026年12月期	ー	30.00	ー		
2026年12月期（予想）				30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,700	14.9	19,700	28.5	20,000	15.9	15,800	15.7	241.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
詳細については、「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	69,175,664株	2025年12月期	69,175,664株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	3,822,941株	2025年12月期	3,909,907株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	65,322,773株	2025年12月期３Ｑ	66,259,696株

（注）期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士または監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 5
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）要約四半期連結財政状態計算書 …… 6
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）要約四半期連結持分変動計算書 …… 10
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 12
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 14
（継続企業の前提に関する注記） …… 14
（セグメント情報） …… 14

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

① 決算成績の概況

当第３四半期における当社グループを取り巻く事業環境は、航空機市場やエネルギー関連市場において需要増加の動きがみられた一方、地政学リスク、資源価格・為替の変動、調達環境の不確実性など、先行きの不透明感が継続しました。

こうしたなか、インダストリアル事業では、米国の気候変動政策の見直しやエネルギー安全保障の重要性の高まりを背景に、LNG分野の設備投資需要は好調に推移しました。水素・アンモニア等の次世代エネルギー分野は、市場形成の進展度合いや投資意欲に地域差が生じており、投資の重点が再びLNGへ向かう動きがみられます。また、CE&IGグループでは宇宙産業向けビジネスなど新たな事業分野の拡大が進んでいます。このような環境のもと、液化ガス・産業ガス関連機器・装置の受注済案件を着実に遂行したことに加え、産業用ポンプ・システム事業および精密機器事業も堅調に推移したことから、インダストリアル事業全体では増収増益となりました。

航空宇宙事業では、航空機市場における生産活動の回復と増産に向けた動きを背景に、民間航空機向け部品の出荷が増加しました。機体メーカーでは旺盛な航空機需要を背景に高水準の受注残が継続しており、当社においても主力部品であるカスケードを中心に需要が堅調に推移しています。また、生産の自動化など生産性改善の取り組みが寄与し、前期下期以降、収益改善基調が続いています。

メディカル事業の主要市場である血液透析市場では、国内医療機関による設備投資意欲は抑制的に推移した一方、欧州では需要が堅調に推移し、アジアでは患者数の増加や医療保険制度の整備を背景として市場は拡大基調です。中国では成長期待がある一方、中国市場における現地調達ニーズの高まりや現地メーカーの台頭により競争環境は変化しています。このような環境のもと、国内市場は弱含みで推移しましたが、欧州を中心とする海外市場が牽引し、増収となりました。利益面では、増収効果等により増益となりました。

なお、当第３四半期において、中東情勢の緊迫による当社グループの事業活動および業績への影響は限定的でした。

その他、調整額（全社費用等）は、前年同期のCRRT事業譲渡益 約４億円の剥落影響があったものの、在外子会社の清算に伴う利益 約22億円を計上したことから、損益は前年同期から大幅に改善しました。当該子会社は、2022年のインダストリアル事業の連結子会社株式の譲渡に伴い清算手続を進めていましたが、このたび現地税務当局による審査が完了したことから、当第３四半期に清算を完了しました。これに伴い、連結純資産に計上していた為替換算調整勘定を当第３四半期の損益へ振り替えています。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、受注高、売上収益、営業利益、税引前四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益のいずれも前年同期を上回りました。

また、通期業績予想に対しては、全体として概ね計画どおりに進捗しています。今後、米国の政治・政策動向をはじめとする外部環境の変化には引き続き注視が必要であるものの、各事業における売上の着実な実現と収益管理を通じて、業績予想の達成に取り組んでまいります。

（単位：百万円）

	2025年12月期 第３四半期実績	2026年12月期 第３四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	163,748	202,307	＋38,558	＋23.5%
売上収益	152,278	177,885	＋25,607	＋16.8%
営業利益	8,211	14,019	＋5,808	＋70.7%
営業利益率（%）	5.4	7.9	－	－
税引前四半期利益	7,985	14,231	＋6,246	＋78.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	7,331	11,609	＋4,277	＋58.3%

② セグメント別の状況　（単位：百万円）

	2025年12月期 第３四半期実績	2026年12月期 第３四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	163,748	202,307	＋38,558	＋23.5%
工業部門	106,043	140,763	＋34,720	＋32.7%
インダストリアル事業	93,027	123,225	＋30,197	＋32.5%
航空宇宙事業	12,730	17,462	＋4,732	＋37.2%
医療部門	57,914	61,574	＋3,659	＋6.3%
売上収益	152,278	177,885	＋25,607	＋16.8%
工業部門	96,142	118,447	＋22,304	＋23.2%
インダストリアル事業	83,152	100,727	＋17,574	＋21.1%
航空宇宙事業	12,708	17,648	＋4,939	＋38.9%
医療部門	56,336	59,465	＋3,128	＋5.6%
セグメント利益	8,211	14,019	＋5,808	＋70.7%
工業部門	7,257	9,918	＋2,661	＋36.7%
インダストリアル事業	7,478	8,363	＋884	＋11.8%
航空宇宙事業	10	1,601	＋1,591	－
医療部門	3,784	4,903	＋1,119	＋29.6%
調整額（全社費用等）	△2,960	△954	＋2,005	－
税引前四半期利益	7,985	14,231	＋6,246	＋78.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	7,331	11,609	＋4,277	＋58.3%

※　工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の金額が含まれています。
※　セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

≪事業セグメント別の事業環境と事業概況≫

事業	主要製品	2026年12月期 第３四半期の事業・受注環境	2026年12月期 第３四半期の業績概況
インダストリアル事業	液化ガス・産業ガス関連機器・装置	・LNG分野における設備投資需要は底堅く、北米、欧州、アジア地域の液化・受入基地や海運等の案件が進展 ・水素・アンモニア等の次世代エネルギー分野では、市場形成の進展度合いや投資意欲に地域差が生じており、一部ではLNG分野への投資回帰の動き。これに伴い船舶市場関連の引合いも増加傾向 ・CE＆IGグループにおける宇宙産業向けビジネス等、新たな事業機会の拡大を背景に、受注は引き続き計画を上回る水準で推移	・CE＆IGグループは、受注済案件の着実な遂行および円安影響等により、前年同期比で増収増益 ・売上収益は計画どおりに進捗するものの、利益面では改善余地あり。サービス事業の成長加速による収益力向上および事業規模拡大に伴う先行費用管理の強化継続 ・低・脱炭素市場向けの技術・製品開発および、CE＆IGグループと日本事業とのグローバル一体運営体制の整備継続
	産業用ポンプ・システム	・底堅い需要を背景に、受注高は堅調に推移	・受注済案件の着実な遂行により増収増益。計画どおりの進捗
	精密機器	・電子部品市場における設備投資の調整継続および中国市場での競争激化に伴い受注高は前年同期比で微減。電子部品市場を中心に受注獲得活動を一層強化	・受注済案件の着実な遂行により底堅い利益水準を維持。計画達成に向け、売上確保と費用管理を強化
航空宇宙事業	民間航空機向け炭素繊維強化プラスチック（CFRP）成形品	・航空機市場における生産活動の回復および増産に向けた動きが活発化	・前期下期以降、収益改善基調が継続。計画対比では、売上収益はやや弱含むものの、営業利益は概ね想定どおりの進捗

事業	主要製品	2026年12月期 第３四半期の事業・受注環境	2026年12月期 第３四半期の業績概況
メディカル事業	血液透析関連製品	・国内市場は、血液透析患者数が中長期的に減少傾向に転じていくと予想されるなか、足元需要は弱含みで推移 ・中国市場は、設備投資需要が拡大しているものの、国産化政策の進展に伴う現地メーカーの台頭により競争環境が変化 ・欧州市場は、高機能・省人化ニーズの高まりと、当社の自動化・高機能モデルに対する高い評価を背景に底堅い需要が継続 ・中国を除くアジア市場は、経済発展および医療保険制度の整備を背景に需要は拡大基調	・国内販売は、医療機関の設備投資抑制の継続により減収 ・海外販売は、欧州での販売拡大に円安の追い風もあり増収 ・利益面は、増収効果等により増益 ・計画対比では、売上収益・営業利益ともに、概ね想定どおりの進捗 ・米国市場は、現在販売中の血液透析装置に加え、上位機種となる多用途型血液透析装置の上市に向け、追加試験・評価等の許認可対応を継続中。製品ラインアップの拡大による事業拡大を図る

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間の資産合計は375,439百万円となり、前連結会計年度末に比べて17,310百万円増加しました。「現金及び現金同等物」は減少したものの、「営業債権及びその他の債権」、「棚卸資産」、「その他の流動資産」および「長期金融資産」の増加が主な要因です。

当第３四半期連結会計期間の負債合計は206,453百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,553百万円増加しました。借入金が増加したことが主な要因です。

当第３四半期連結会計期間の資本合計は168,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,757百万円増加しました。「利益剰余金」の増加が主な要因です。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間においては、全体として概ね計画どおりに業績は進捗しており、現時点では連結業績予想を据え置きます。しかしながら、不確実性の高い事業環境が継続しているため、今後、各事業の環境変化の影響を見極め、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

当該業績予想で前提としている為替レートは、157円／米ドル、184円／ユーロです。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	44,584	40,853
営業債権及びその他の債権	79,376	85,535
その他の短期金融資産	285	358
棚卸資産	60,752	66,673
未収還付法人所得税	730	754
その他の流動資産	8,192	10,334
小計	193,922	204,508
売却目的で保有する資産	486	－
流動資産合計	194,408	204,508
非流動資産		
有形固定資産	51,795	54,005
のれん及び無形資産	39,166	39,970
使用権資産	28,396	27,839
持分法で会計処理されている投資	5,928	6,476
長期金融資産	34,975	39,204
繰延税金資産	2,526	2,672
その他の非流動資産	931	761
非流動資産合計	163,720	170,930
資産合計	358,129	375,439

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	8,684	25,979
営業債務及びその他の債務	29,041	23,073
リース負債	3,963	4,408
その他の短期金融負債	705	767
未払法人所得税等	1,120	2,124
引当金	1,634	1,670
その他の流動負債	42,476	49,463
流動負債合計	87,625	107,487
非流動負債		
長期借入金	73,924	61,794
リース負債	23,529	22,706
その他の長期金融負債	31	7
退職給付に係る負債	1,310	1,253
未払法人所得税等	21	45
引当金	891	1,055
繰延税金負債	9,326	10,492
その他の非流動負債	1,240	1,611
非流動負債合計	110,275	98,966
負債合計	197,900	206,453
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	6,041	6,031
自己株式	△4,224	△4,131
その他の資本の構成要素	42,144	42,718
利益剰余金	107,670	115,901
親会社の所有者に帰属する持分	158,176	167,064
非支配持分	2,052	1,921
資本合計	160,228	168,985
負債及び資本合計	358,129	375,439

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	152,278	177,885
売上原価	△107,345	△126,753
売上総利益	44,932	51,131
販売費及び一般管理費	△37,061	△39,872
その他の収益	1,374	2,829
その他の費用	△1,034	△68
営業利益	8,211	14,019
金融収益	957	871
金融費用	△1,505	△1,115
持分法による投資利益	322	456
税引前四半期利益	7,985	14,231
法人所得税費用	△582	△2,464
四半期利益	7,402	11,767
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,331	11,609
非支配持分	71	157
四半期利益	7,402	11,767
親会社の所有者に帰属する１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	110.65	177.72
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	110.51	177.69

要約四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期利益	7,402	11,767
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	6,395	2,062
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△0
合計	6,391	2,062
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△4,146	△2,067
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	265	397
持分法適用会社に対する持分相当額	△103	101
合計	△3,984	△1,568
税引後その他の包括利益	2,406	493
四半期包括利益	9,809	12,261
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,792	12,206
非支配持分	17	54
四半期包括利益	9,809	12,261

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2025年１月１日	6,544	6,016	△2,692	6,846	27,350
四半期利益					
その他の包括利益				6,391	△4,219
四半期包括利益合計	―	―	―	6,391	△4,219
自己株式の取得			△0		
自己株式の処分		8			
配当金					
株式に基づく報酬取引		6	15		
利益剰余金への振替				△110	
所有者との取引額等合計	―	14	15	△110	―
2025年９月30日	6,544	6,031	△2,677	13,127	23,130

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2025年１月１日	92	34,289	95,912	140,070	1,935	142,005
四半期利益			7,331	7,331	71	7,402
その他の包括利益	288	2,460		2,460	△53	2,406
四半期包括利益合計	288	2,460	7,331	9,792	17	9,809
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				8		8
配当金			△2,186	△2,186	△127	△2,314
株式に基づく報酬取引				22		22
利益剰余金への振替		△110	110	―		―
所有者との取引額等合計	―	△110	△2,075	△2,156	△127	△2,283
2025年９月30日	381	36,639	101,168	147,706	1,825	149,531

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2026年１月１日	6,544	6,041	△4,224	13,636	27,977
四半期利益					
その他の包括利益				2,062	△1,863
四半期包括利益合計	―	―	―	2,062	△1,863
自己株式の取得			△1		
自己株式の処分		△57	77		
配当金					
株式に基づく報酬取引		47	16		
利益剰余金への振替				△24	
所有者との取引額等合計	―	△9	93	△24	―
2026年９月30日	6,544	6,031	△4,131	15,674	26,113

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2026年１月１日	530	42,144	107,670	158,176	2,052	160,228
四半期利益			11,609	11,609	157	11,767
その他の包括利益	398	597		597	△103	493
四半期包括利益合計	398	597	11,609	12,206	54	12,261
自己株式の取得				△1		△1
自己株式の処分				20		20
配当金			△3,402	△3,402	△184	△3,587
株式に基づく報酬取引				63		63
利益剰余金への振替		△24	24	―		―
所有者との取引額等合計	―	△24	△3,378	△3,318	△184	△3,503
2026年９月30日	929	42,718	115,901	167,064	1,921	168,985

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	7,985	14,231
減価償却費及び償却費	8,276	8,897
減損損失（又は戻入れ）	△49	－
受取利息及び受取配当金	△859	△694
支払利息	857	1,108
為替差損益（△は益）	1,019	782
持分法による投資損益（△は益）	△322	△456
有形固定資産の除売却損益（△は益）	688	△0
関係会社株式売却損益（△は益）	△455	－
関係会社清算益	－	△2,213
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△5,681	△6,058
棚卸資産の増減額（△は増加）	△5,503	△6,017
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	1,824	△5,816
契約負債の増減額（△は減少）	185	6,614
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△5	△23
その他	△113	△1,683
小計	7,845	8,668
利息及び配当金の受取額	863	760
利息の支払額	△799	△1,044
法人所得税の支払額	△1,841	△2,167
法人所得税の還付額	287	460
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,355	6,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△9
定期預金の払戻による収入	1	3
有形固定資産の取得による支出	△3,261	△7,230
有形固定資産の売却による収入	202	476
無形資産の取得による支出	△414	△1,504
資本性金融商品の売却による収入	167	40
資本性金融商品の取得による支出	－	△215
連結範囲の変更を伴う関係会社株式等の売却による収入	5,567	－
事業譲渡による収入	610	－
短期貸付けによる支出	△3	△1
短期貸付金の回収による収入	3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,872	△8,441

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,036	4,442
短期借入金の返済による支出	△1,097	△1,110
リース負債の返済による支出	△3,023	△3,387
長期借入れによる収入	－	4,977
長期借入金の返済による支出	△6,486	△3,146
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△2,186	△3,402
非支配持分への配当金の支払額	△127	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,884	△1,812
現金及び現金同等物に係る換算差額	△715	△155
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,372	△3,731
現金及び現金同等物の期首残高	34,663	44,584
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物の振戻額	1,239	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,531	40,853

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

報告セグメントの識別方法、セグメント利益の測定基準について、当第３四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

(2) セグメント収益及び業績

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	要約四半期連結財務諸表計上額（注）２
	工業部門	医療部門	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	95,941	56,336	152,278	－	152,278
セグメント間の内部売上収益または振替高	201	－	201	△201	－
計	96,142	56,336	152,479	△201	152,278
セグメント利益	7,257	3,784	11,042	△2,830	8,211
その他の項目					
金融収益					957
金融費用					△1,505
持分法による投資利益					322
税引前四半期利益					7,985

（注）１．セグメント利益の調整額のうち、△3,415百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用等で、129百万円はセグメント間取引消去で、455百万円は関係会社株式売却益です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

２．セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	要約四半期連結財務諸表計上額（注）２
	工業部門	医療部門	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	118,425	59,459	177,885	－	177,885
セグメント間の内部売上収益または振替高	22	5	27	△27	－
計	118,447	59,465	177,912	△27	177,885
セグメント利益	9,918	4,903	14,822	△802	14,019
その他の項目					
金融収益					871
金融費用					△1,115
持分法による投資利益					456
税引前四半期利益					14,231

（注）１．セグメント利益の調整額のうち、△3,167百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用等で、151百万円はセグメント間取引消去で、2,213百万円は関係会社清算益です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

２．セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。